

南オーストラリア州との友好交流25周年（2018（平成30）年5月）

南オーストラリア（SA）州は、岡山県の姉妹州です。気候は温暖で、各種の鉱物資源に恵まれているほか、安価な農産物や畜産物、美味しいワインなどが有名です。人々はとてもフレンドリーで、世界各地の多彩な食べ物を楽しめるレストランが多い「グルメ天国」でもあります。

州都にあるアデレード港と水島港の姉妹港縁組をきっかけとして、30年以上も前から様々な交流を進めてきました。県と州との姉妹縁組は1993年5月に岡山市で調印されましたが、ちょうど本学開設直後でもあり、SA州との交流の25年間の歴史は、本学の発展とも重なります。両県州では、次のような交流事業を積極的に進めてきました。

- 高校生の短期交流（1カ月間程度：授業参加、ホームステイなど）
- 中学校・高校の教員の相互派遣（1年間～2年間）
- 樹木の交換（桜の寄贈／ユーカリ・アカシア等の受入（県内の学校・公園などに植樹））
- 友好訪問団の相互派遣
- 観光・物産等を紹介・販売するイベントの相互開催 など

こうした長年の友好関係を背景として、本学では、2013年4月に辻英明学長がSA州を訪問して、主要3大学及び州立高等専門学校（TAFE）において、交流促進に向けた協議を行いました。その結果、まずはアデレード大学での英語研修が2014年2月にスタートしました。実践的な英語力育成のため、教室内に止まらず、食料品市場や商店、博物館等へも出掛けて行って、学んだばかりの新たな英語表現にチャレンジします。

続いて翌2015年3月からは、「SA州保健福祉学スタディツアー」を開始しました。TAFEの協力を得て、座学で基本的事項を学んだ後、福祉施設や子育て支援機関を訪問する他、小学校と高校では、日本語の指導や日本文化の紹介を行います。こうした学校での交流については、内容の構想・計画の段階から準備・実施・振り返りまですべて、学生自らが協力・工夫しながら取組を進めており、参加学生は大きな達成感が得られます。

アデレード市の南の郊外の丘陵地では、岡山県が寄贈した桃太郎像を見ることができません。この桃太郎は、犬・猿・雉を従えて岡山の方角を向いており、学生たちはこの場所で、両県州の交流の歴史を学ぶこととなります。また、アデレード市で約30年前に設置され、岡山県でもかつて導入を検討した、世界的成功事例とも言われている「新交通システム～オーバン・バス」も、学生研修で体験させています。交通渋滞対策に加え、遊休地の有効活用や環境保全など多様な目的を持った一大プロジェクトです。市街地のはずれから郊外までの約12kmの区間にバス専用のレーンを設けて、時速100km近くで一気に走り抜ける、という仕組みですが、今ではアデレード市民の生活にすっかり溶け込んでいるように見えます。



アデレード市での2つの学生研修の期間は、約3週間、約1週間と短期間ですが、いずれもホームステイを体験できます。これまで100名を超える本学学生がSA州での生活を満喫しましたが、これら修了者を中心に、SA州での中長期間の留学にチャレンジする学生が近年増えています。今年だけでも4名が、2カ月余り～約1年間の語学留学で滞在中、もしくは計画・準備中です。学生たちにとって非常に貴重で実り多い経験となりますが、こうした取組を通じて、両県州の相互理解と友好親善が更に進展するよう切に願っています。

アデレード大学とは、2014年9月に大学間学術交流協定を締結して以降、学生交流に加えて国際共同研究等を推進するために、教職員が相互に訪問してきました。両県州の姉妹縁組25周年を契機として、今後の交流の更なる発展が期待されます。